

施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	8・3・1	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎
②	施策名	広域交通体系の整備					
③	目標	幹線道路（国・県道）の整備に満足している町民の割合		施策の内容	隣接市町とともに町内の各地域を結ぶ、国道113号、349号及び主要地方道丸森霊山線等の広域的な交通体系の骨格を形成するアクセス道路については、整備促進や全面改良に向けた要望活動を進めます。		
④	現状と課題	生活道路（身近な道路）の整備に満足している町民の割合					
⑤	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 広域幹線道路としては、相馬市～角田市～白石市を連絡する国道113号、角田市～福島県伊達市を連絡する国道349号が通っています。これらの路線と主要地方道3路線、一般県道7路線が接続し、幹線道路網が形成されています。 ◆ 生活道路については、これまで計画的に整備を進めてきましたが、多くの路線において、幅員が狭く、全体的に損傷が進んでいることから、計画的な改良・補修を行い、安全で快適な道路環境を整備が求められています。 					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
要望路線着工率	%	20.0	-	-	-	-	80.0
			-	-	-	-	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
		112	159	269	269	269

1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	道路整備を促進するため、活発な要望活動を展開し、予算の確保及び道路の整備を国県に働きかけた。
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩	今後の取組	今後とも、道路整備を促進するため、活発な要望活動を展開し、予算の確保及び道路の整備を国県に働きかける。
---	-------	---

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 国・県の動向を注視しながら要望活動を展開する。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 引き続き、道路整備を促進するため、活発な要望活動を展開し、予算の確保及び道路の整備を国県に働きかけていくこと。